

「こども手当」はだれのため？

子育てを放棄した親に「こども手当」！

- ① 「こども手当」が支給されるようになったことには、論議はあるものの一定の評価はあたいたいと思います。
- ② しかし、虐待や子育てを放棄して、ちいさな胸に悲しみをいっぱいためたこどもたちをまるで荷物のように社会に放り出した親たちにも「こども手当」が支給されています。
- ③ 乳児院、児童養護施設では親からの虐待など様々な理由で親と暮らせない0歳から18歳までのこどもたちが、自立に向けて、小さな体で悩み苦しみながら一生懸命生きています。
- ④ 親に甘えたい年齢です、反抗期にもなります、思春期を施設で育つこどもたちからは、「親が面倒見ないなら、何で私を生んだの」といった心の叫びが聞かれます。そんなこどもたちを育てている施設の職員は、親代わりとなり、難しい18歳からの自立に向けて公私の区別なく働いています。
- ⑤ そんな施設の職員が、今大いに憤慨しています！
なぜ「こども手当」が子育てを放棄した親に支給されるのか！

親権と監護権

- ⑥ 現在の「こども手当」は親権者に支給されます。生活の面倒をみない親にでも、です！
- ⑦ その親が、「こども手当」を何に使おうが自由です。ギャンブルであろうが飲酒であろうが問題ない。これが「こども手当」の実態です！
- ⑧ そのこどもたちは、施設で「自分のための手当」なのに何にも使うことができません。
- ⑨ 親が服役していたり、こども手当の手続きをしない場合、暮らしている施設で、こどもたちに支給されます。
- ⑩ しかも、その支出内容に制限があり、すべて領収書が必要であり、年度内の支出でないと返還となります。
- ⑪ 施設では、「こども手当」をもらえる子と、もらえない子が出てきます。
- ⑫ 「日本には、政治はないのか！」と怒鳴りたくなります！
- ⑬ いったい、この事実を政治家は知っているのかと！
- ⑭ このこどもたちは18歳になると施設から出て、自立の道を歩みますが、極めて厳しい道を一人で歩まなくてははいけません。せめて自立のための貯蓄を許してもらえないのかあるいは、もらえないこどもたちにも分かちあえないのか
- ⑮ 児童養護施設に入所しているこどもたちには、親権ではなく、監護権の適用を強く望むものであります。
- ⑯ そして将来の自立支援をふまえて、「こども手当」に領収書を求めることなく、一般と同様の扱いをお願いしたいと思っています。